

# 令和4年4月 桐生市立黒保根学園 開校

令和4年4月、黒保根小学校と黒保根中学校を統合し、義務教育学校「桐生市立黒保根学園」を開校します。

黒保根学園の目標は、「世界を見つめ、世界に羽ばたく人材の育成」です。9年間を見据えた、黒保根学園ならではの教育を行います。

また、これまでの「西町インターナショナルスクール」(東京都)との姉妹校提携を継続し、田園地帯という特徴を生かした、田植え、もちつきなどの行事を通してより深く交流します。さらに、学校支援センターの一層の充実を図り、地域の皆さんとともに作る学校を目指します。

## 9年間で3ブロック制に

義務教育9年間の学びの連続性を大切にしながら、発達段階に合わせた3ブロック制で、個々に応じた柔軟な教育を推進します。

### ▶前期ブロック（1年生から4年生）

担任の先生を中心として、幼児教育との円滑な接続や学習習慣の確立など、学びの土台づくりを行います。

### ▶中期ブロック（5年生から7年生）

教科ごとに専門の教員が担当し、学びの定着、拡充を目指します。

### ▶後期ブロック（8・9年生）

進路を見据えた学力、社会的自立への基礎固めを行い、学びの深化、発展を目指します。



## 黒保根学園の教育の特長

### 地域に根ざし 地域と連携・協働

郷土を愛し、誇りを持てるよう、町探検、地元での職業体験、黒保根再発見学習などを実施します。

米作り、八木節など、黒保根の豊かな自然や伝統文化を生かした体験学習などの充実を図ります。

また、学校と町による合同運動会、高齢者との交流など、地域の皆さんとの合同行事の充実を図ります。

### 少人数を生かした 個々に応じた指導

弾力的でゆとりある教育課程を実践し、習得した知識を活用し課題解決する生きる力を育みます。

また、計画的に補充学習や発展学習など、個々の学びに応じた指導、教員の専門性を生かした質の高い教科指導を行います。

さらに、一人一台タブレットPCとデジタル教科書の活用で学びを広げ深める学習を行います。

### 英語教育 国際理解教育の推進

幼児期からの早期英語教育を推進します。英会話講師による一貫した英語教育の実施や、1年生から外国語に触れる活動を実施します。

また、ICT機器を活用し、西町インターナショナルスクールや、本市の国際姉妹都市であるアメリカ合衆国コロンバス市との交流の充実を図ります。

### 小規模特認校制度

黒保根学園では、桐生市全域から就学を認める小規模特認校制度を導入します。市内に在住で、黒保根学園への入学、転入学をお考えの方は、気軽にお問い合わせください。

問い合わせ＝学校教育課教育支援室教育支援係（☎内線 688）

